

第75回 医学教育セミナーとワークショップ

医療者教育学
修士課程開設決定!

2020年 1月 25日(土)PM ~ 26日(日)AM
岐阜大学(医学部キャンパス)

シンポジウム 医療者像のパラダイム変化の中でアウトカム基盤型教育の質保証をどう進めるのか

CD

シンポジスト: 太田美紀(厚生労働省医薬・生活衛生局)、石川さと子(慶應義塾大学薬学部)
奈良信雄(日本医学教育評価機構)、中村真理子(東京慈恵会医科大学)
荒木裕人(文部科学省医学教育課)、藤崎和彦(MEDC)

セミナー MEDC とともに20年

ML

講師: 丹羽雅之(MEDC)

WS-1 医療者教育の研究を立案してみよう(第15回 医学教育研究技法WS)

R

企画: 日本医学教育学会 教育研究・利益相反委員会

WS-2 臨床実習・臨床研修に文化人類学的アプローチを活用する

TL

企画: 錦織 宏(名古屋大学)、伊藤泰信(北陸先端科学技術大学院大学)

飯田淳子(川崎医療福祉大学)、浜田明範(関西大学)、星野 晋(山口大学)

WS-3 はやい! やすい! うまい!? 臨床現場で行う簡単シミュレーション

TL

企画: 山畑佳篤(京都府立医科大学)、宮道亮輔(あいワンディクリニック)

中村朋子(佐賀関病院)、佐藤朝之(市立札幌病院)

WS-4 評価を「自己評価」する

A

~妥当性の検証によるブラッシュアップとその後

企画: 恒川幸司・今福輪太郎・川上ちひろ・西城卓也(MEDC)

FELLOWSHIP

Fellow Associate

WS-5 医師のキャリアマネジメント教育

ML

企画: 日本医学教育学会 生涯・キャリア教育委員会

WS-6 知と実践の往来、そしてフェローとアソシエイトの仲間!

TL

企画: 西城卓也・今福輪太郎・恒川幸司・川上ちひろ(MEDC)

FELLOWSHIP

Fellow Associate

WS-7 体験から得た学びを言語化する ~振り返りを促進するために~

A

企画: 猪田宏美(岡山大学)、渡邊洋子(新潟大学)

2020
冬

1月25日(土)						
13:00-16:30	シンポジウム	WS-1~	WS-2~	WS-3~	WS-4	WS-5
16:45-18:00	セミナー					
19:00-21:00	懇親会(送迎バスをご用意いたします)					
1月26日(日)						
9:00-12:30	WS-6	~WS-1	~WS-2	~WS-3	WS-7	

*記号(TL 等)は、アソシエイト認定のための学習領域を表しています。詳細はMEDCホームページをご覧ください。

第76回
岐阜

併催

第21回教務事務職員研修
2020/5/22-24

第77回
関西医大

2020/10/3-4

第78回
岐阜

2021/1/22-23

第79回
岐阜

併催

第22回教務事務職員研修
2021/5

シンポジウム

CD

「医療者像のパラダイム変化の中でアウトカム基盤型教育の質保証をどう進めるのか」

シポジスト： **太田美紀**（厚生労働省医薬・生活衛生局）、**石川さと子**（慶應義塾大学薬学部）
奈良信雄（日本医学教育評価機構）、**中村真理子**（東京慈恵会医科大学）
荒木裕人（文部科学省医学教育課）、**司会：藤崎和彦**（MEDC）

日時： 1月25日(土)13:00～16:30

概要： 超高齢社会、人口縮小社会に突入していく中で、医療環境やAIを含めた技術環境の変化も受けて、求められる医療者像も大きくパラダイム変化してきている。一方で医療者教育自体は医学、歯学、薬学、看護学に引き続いてリハビリ教育分野でもコアカリキュラムが作成されて、より一層、アウトカム基盤型教育の充実、進化が求められてきており、教育の質保証をめぐる、分野別認証評価やIR（Institutional Research）の導入が急ピッチに進みつつある。本企画では、「モノから人」へと求められる医療者像が大きく変化する中で、いち早くアウトカム基盤型教育に取り組みだした薬学教育での話題をトリガーにして、教育の質保証をめぐる分野別認証評価やIRの現状と課題、さらに教育の質保証を担保するための今後の課題について、参加者とともに考えていきたい。

セミナー「MEDC とともに20年」

ML

講師： **丹羽雅之**（MEDC）

日時： 1月25日(土)16:45～18:00

概要： 医学教育開発研究センター(MEDC)は2001年の設立以来20年にわたりティーチャートレーニングセンターとしての役割を担ってきたが、2020年4月に医療者教育学修士課程の設置が予定され、新たな展開を迎えることとなった。ここではこれまでのMEDCの足跡を医学教育セミナーとワークショップの開催や医学教育研究の面等から、MEDC発足時からともに歩んできた演者の目から振り返り、今後につなげたい。

WS-1 医療者教育の研究を立案してみよう（第15回 医学教育研究技法WS）

R

企画： **日本医学教育学会 教育研究・利益相反委員会**

（大滝純司、宮田靖志、石川ひろの、伊藤俊之、大生定義、尾原晴雄、関根道和、武田裕子、南郷栄秀、向原 圭、森本 剛）

日時： 1月25日(土)13:00～16:30・26日(日)9:00～12:30（7時間）

概要： 質の高い研究を行うためには、研究を始める前に、目的を明確にし、十分に準備し、適切な方法を選択することが不可欠です。本ワークショップでは、医学・医療者教育分野の研究を始めようとしている方を対象として、参加者の皆さんが抱えている・関心を持っている研究テーマについて研究計画をそれぞれ報告していただきます。その上で、目的の明確化、先行研究に基づきリサーチクエストや仮説の設定、適切な研究方法の選択、倫理的配慮などに向けて、タスク・参加者と共に議論し、個々のニーズに合わせて研究計画をブラッシュアップすることを目標とします。

対象： 医療者教育研究を計画している方、関心のある方

定員：18名

WS-2 臨床実習・臨床研修に文化人類学的アプローチを活用する

TL

企画： **錦織 宏**（名古屋大学）、**伊藤泰信**（北陸先端科学技術大学院大学）、**飯田淳子**（川崎医療福祉大学）
浜田明範（関西大学）、**星野 晋**（山口大学）

日時： 1月25日(土)13:00～16:30・26日(日)9:00～12:30（7時間）

概要： 医学教育における社会科学が近年、関心を集めています。平成28年度版医学教育モデル・コアカリキュラムへの文化人類学導入にもそれは表れています。しかし、社会科学者の多くは臨床現場の文脈に、現場の医師や医学部教員は社会科学に未だ精通しておらず、医師・医学部教員と社会科学者の連携が課題とされています。このワークショップでは、文化人類学に焦点を当て、医学部学生のもの見方や医師や医療者が臨床現場で出会う苦悩などを題材に、医師・医療者と文化人類学者が協働して行う「症例検討」や臨床実習における「エスノグラフィーの教育」の経験を共有し、「臨床と結びつけて文化人類学をどう教えればよいか？」について考えていきます。卒前・卒後の臨床実習・臨床研修に焦点を当てながら、医学教育あるいは臨床現場に文化人類学的アプローチを導入することの意味を考える契機となればと思います。

対象： 行動科学・社会科学教育に関心のある医学部・医療系大学教員
医学・医療者教育に関心のある行動科学・社会科学研究者

定員：30名

WS-3 はやい! やすい! うまい!? 臨床現場で行う簡単シミュレーション

TL

- 企画： 山畑佳篤（京都府立医科大学）、宮道亮輔（あいハンディクリニック）、中村朋子（佐賀関病院）、佐藤朝之（市立札幌病院）
日時： 1月25日(土)13:00~16:30・26日(日)9:00~12:30（7時間）
概要： シミュレーション教育が広がってきている今日この頃、シミュレーションといえばスキルスラボでお人形を使ってやるものと思込んでいませんか？ 最近は臨床現場で行うシミュレーション=In situ simulationの有用性がクローズアップされていますが、忙しい臨床の合間にはなかなかシミュレーションの準備や実施までするのが大変！ そんな時にオススメしたいのが、指導者自らが模擬患者となり、模擬患者モニター（simulated patient monitor）を活用した簡単シミュレーション（10 minutes simulation at work place）。より良い学習機会の提供のためのシミュレーションの構築について、参加者とワークショップ形式でシナリオを作成し、実際のシミュレーション提供を目標とします。
対象： 医療機関や臨床研修病院で教員や教育担当をしている医師・看護師・救急救命士など 定員：24名

WS-4 評価を「自己評価」する ～妥当性の検証によるブラッシュアップとその後

A

- 企画： 恒川幸司・今福輪太郎・川上ちひろ・西城卓也（MEDC）
日時： 1月25日(土)13:00~16:30（3時間半）
概要： 「評価は学習を促進する」という格言は有名だが、実際の教育実践でその格言が実践できているかを測定し、改善案を立てるのは容易ではない。そこでこのワークショップでは、評価の妥当性に関するフレームワークである、【RVECA】を紹介する。本フレームワークを各自の教育実践に落とし込んだのち、課題を探し出し改善点を考えることで、参加者の評価法をブラッシュアップする。また、今回のワークショップでは、MEDCフェロースHIPとアソシエイト制度の発足5周年を記念し、フェロースHIP有資格者が、本プログラムをどのように実践に生かし、その結果についての振り返りをもとに議論したいとも考えている。
対象： フェロースHIPプログラム2019モジュール2参加者、MEDCフェロー・アソシエイト限定（一般の参加者は受け付けておりませんのでご了承ください）

FELLOWSHIP
Fellow Associate

WS-5 医師のキャリアマネジメント教育

ML

- 企画： 日本医学教育学会 生涯・キャリア教育委員会（清水貴子、和泉俊一郎、泉美貴、賀来敦、榊原秀也、野村英樹、蓮沼直子）
日時： 1月25日(土)13:00~16:30（3時間半）
概要： 医師としてのキャリア形成能力は、昨今の医学部入試不正や出産育児休暇等により女性特有の問題とされがちですが、実は医師を志す方、医師を職業としているすべての方にとり、生涯にわたって必要な能力です。本委員会では医学部入学前から生涯にわたるキャリア教育目標(案)を作成しましたが、今後実際の教育や自己学習に生かせるよう目標のコンセンサスを形成し、さらに教育カリキュラムに落とし込む方法を考えたいと思います。
対象： 研修病院、医学部・医科大学でキャリア教育カリキュラム作成やキャリア相談に当たっている方
キャリア教育に興味のある医学生・研修医 定員：40名

WS-6 知と実践の往来、そしてフェローとアソシエイトの仲間！

TL

- 企画： 西城卓也・今福輪太郎・恒川幸司・川上ちひろ（MEDC）
日時： 1月26日(日)9:00~12:30（3時間半）
概要： MEDCフェロースHIPとアソシエイト制度発足後、5年の月日が経った。このようなメンバーで形成されるグループ（実践共同体：Community of Practice）に属することは、どんな意味があるのだろうか？ 知識の共有？ 経験の分かち合い？ 仲間意識？ また医療者教育について学んだ知識を、実践に活かす（Knowledge Translation）ときには、いつもギャップ（Know-Do gap）がある。逆に経験から知を生み出す営み・研究もまた苦しい。どのようにしたら教育の知と経験の揺らぎの間で、私たちは幸福感を得られるのか？ 今回のワークショップは、フェロースHIP・アソシエイト発足5周年を記念して開催する。そして私たちが今後挑戦したいことについて、ありったけのアイデアを出し、今後この共同体から広がるベクトルを楽しく占う。
対象： フェロースHIPプログラム2019モジュール2参加者、MEDCフェロー・アソシエイト限定（一般の参加者は受け付けておりませんのでご了承ください）

FELLOWSHIP
Fellow Associate

WS-7 体験から得た学びを言語化する ～振り返りを促進するために～

A

- 企画： 猪田宏美（岡山大学）、渡邊洋子（新潟大学）
日時： 1月26日(日)9:00~12:30（3時間半）
概要： 早期体験学習や臨床実習などの体験を通じて、学生は多くのことを学びます。ところが、学生の書いたレポートにがっかりしたことはありませんか？ 文章から体験を通して何を学んだのかが伝わってこないのはどうしてなのでしょう。医療職にとって振り返るスキルは、医療のプロフェッショナルとして患者のニーズに応え、新たな環境に柔軟に適応し、生涯研鑽を積む上で必須です。学生の振り返るスキルを伸ばすために、加えて学びを言語化するために必要なことについて考えます。
対象： 大学教員、臨床現場で学生を指導している医療職、学生 定員：20名

参加登録方法

事前登録制です。インターネットから直接お申し込みください。
「MEDC」で簡単検索できます。

締め切り：2020年1月13日(祝)

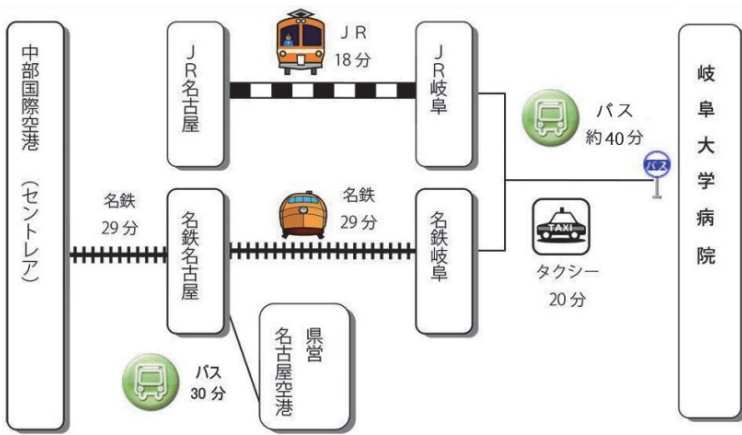
ホームページからお申し込みできない方は、お電話（058-230-6470）にてご連絡ください。
ワークショップ運営上、各々定員を設けております。
申し込み多数の場合、ご参加いただけないこともあります。ご了承ください。

参加費：2,000円 学部学生無料
懇親会費：5,000円

参加費・懇親会費は、受付時に徴収いたします。
参加費は、当日資料ならびに第75回医学教育セミナーとワークショップの報告が掲載されている「新しい医学教育の流れ」の作成等に使用いたします。参加者には後日「新しい医学教育の流れ」の冊子およびCD-ROMを送付いたします。（学部学生への送付はありません）

会場：【セミナー・ワークショップ】 岐阜大学（医学部キャンパス）
(〒501-1194 岐阜市柳戸1-1)

【懇親会】 都ホテル 岐阜長良川 ※送迎バスをご用意いたします
(〒502-0817 岐阜市長良福光2695-2)



JR岐阜駅 9 番のりば / 名鉄岐阜駅 5 番のりば
C70系統（清流ライナー、岐阜大学・病院線）
岐阜大学病院バス停（終点）または柳戸橋バス停（終点の1つ手前）で下車

自家用車でお越しの方は外来駐車場をご利用になり、受付まで駐車券をお持ちください。

